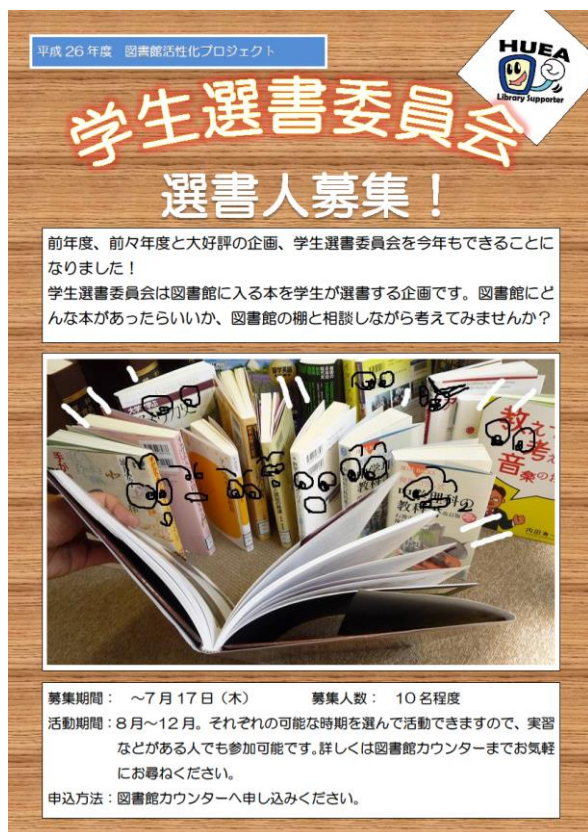


# Book Paper

## 図書館に買ってほしい本を選んでみませんか？


—学生選書委員会の委員募集開始!—



平成26年度 図書館活性化プロジェクト

### 学生選書委員会 選書人募集!

前年度、前々年度と大好評の企画、学生選書委員会を今年もできることになりました！  
学生選書委員会は図書館に入る本を学生が選書する企画です。図書館にどんな本があったらいいか、図書館の棚と相談しながら考えてみませんか？



募集期間：～7月17日(木) 募集人数：10名程度  
活動期間：8月～12月。それぞれの可能な時期を選んで活動できますので、実習などがある人でも参加可能です。詳しくは図書館カウンターまでお気軽にお尋ねください。  
申込方法：図書館カウンターへ申し込みください。

学生が図書館に入れてほしい本を選ぶプロジェクト、「学生選書委員会」。自分に必要な本、図書館に足りない本、学生にとって便利な本を選んで図書館に買ってもらうことができます。

選書委員会には、学生であれば誰でも応募することができます。毎年行われているこの企画、今年はあなたが参加してみませんか？応募方法については下の詳細をご覧ください。ご応募をお待ちしております！

### 学生選書委員会募集要項

- 申込資格：旭川校の学生・院生(個人、グループいずれでも可能)
- 申込先：図書館カウンター
- 内容：学生の立場から、図書館にあったらいいなという本を選書する。

\*途中参加も可だそうですので、申込書を出しそびれた人もぜひカウンターに声をかけてみてくださいね。

### 図書館サポーター企画「図書館を遊ぶ」第1弾

#### 「図書館の仕事体験ツアー」が開催されました。

この企画は、「図書館ってどんな仕事をしているの?」という疑問から、国語専攻の石郷岡さんと数学専攻の伊藤さんが企画・展示・広報も行って、6月24日・25日の2回、実施されました。

みんながよく使う図書館。カウンターで貸出や返却をしたり、本のある場所を教えてもらったり、図書館の仕事はしよっちゅう知っているはず。いえいえ(思った通り地味だったけど)図書館には知らない仕事がいっぱいです。カード目録の作成や分類の仕事は”職人風こだわりの世界”だし、密かにアコガレを抱いていた「ピッ」も体験、満足。

企画してくれたサポーターの人、お疲れ様。ありがとうございました。



## 7月の新着図書

### 『論理学入門』丹治信春（ちくま学芸文庫）

「3年間または走行距離 60,000km まで保証」。自動車の保証期間についてこのように書いてあったら、どのように解釈しますか?ドライバーなら「3年以内であるかまたは 60,000km 以下であるならば、保証される」と、自動車会社なら「3年まで保証するか、または、60,000km まで保証する」と捉えようとするでしょう。

この例から分かるように、私たちが日常で使っている言葉は曖昧性や多義性を含んでいて、論理的議論には向いていません。そんな、

### 日常言語の限界を乗り越え、論理的に物事を考えるためのツールが「論理式」



です。先の例で言うと、ドライバーの解釈は「 $(p \vee q) \rightarrow r$ 」、自動車会社の解釈は「 $(p \rightarrow r) \vee (q \rightarrow r)$ 」という論理式で表すことができます。

論理式の考え方を具体例とともに解説し、ご丁寧に練習問題とその回答までついている、千葉先生オススメの一冊。

この2冊の他にも、先生方の推薦図書が続々と入荷しています。図書館に入ってすぐのところに並べてありますので、要チェック!!

### 『婚外恋愛』亀山早苗（メディアファクトリー新書）

恋愛の行き着く先は結婚、そして幸せな家庭。それが当たり前だと思いませんか?それとも、違うと思いませんか?

この本によると、恋愛と結婚(家庭)を別のものとして割り切る人たちが今、静かに増えつつあるようです。結婚して子どもを持ちながらも、家庭の外で「恋愛」を楽しむ人々。一昔前なら「不倫」、つまり道徳に反する行いとされていたことが、「婚外恋愛」として前向きに捉えられつつある、というか、当事者たちがそう捉えつつある。しかも、それだけじゃありません。恋愛と結婚はもちろん、セックスと恋愛を別のものと考え、「セックスはセックスで」楽しむ既婚者たちも登場します。

### 恋愛、結婚、セックス。それぞれパートナーは同じ人である必要はない。

そんなふうを考える人たちが少なからずいる、ということを知ることができます。

何でも「女」「男」でざっくり書いてしまうという、ジェンダー論的にはやや未熟な記述が気になりますが、婚外恋愛をする当事者たちの生々しい声を拾った貴重な一冊です。そして、他にもない十枝内先生が推薦する図書。なかなかディープな描写が多いので、ウブな方はご注意ください。



## 教育大生なら5分の手間で200冊以上の電子図書を読み放題

—夏休みの読書に Maruzen eBook Library を活用しませんか?—

帰省や旅行など、夏休みはお出かけの予定が目白押しというみなさん、朗報です。わざわざ図書館に向かなくてもスマホや PC から電子図書を読めるサービス、Maruzen eBook Library が、教育大生なら受けることができるんです。

このサービスを利用するには、**事前に図書館の PC からアカウント登録をする必要があります**。私もこれ、やってみました、わずか5分足らずで登録ができました。登録には大学から配布されたメールアドレス

が必要です(@stu.hokkyodai.ac.jp のやつです)。詳しくは登録方法を書いたパンフレットが図書館にありますので、そちらをご覧ください。

読める本200冊以上の中から一部をご紹介します。特支に興味のある方にオススメな『発達障害とその周辺の問題』や、留学前に読みたい『海外の大学・大学院で授業を受ける技術』、そしてなにやら涼めそうな『Seven stories of mystery and horror』(洋書です)など、おもしろそうな本がそろっていますよ。